



CLOSE UP VOICE

株式会社 齋藤塗工店・株式会社 abulax
代表取締役 板橋 正浩 さん

循環型の環境製品を通じ
脱炭素社会実現へ挑戦

気候変動問題の解決のカギとなる、脱炭素社会の実現へ向けた取組みが多くの企業で活発化し、様々な関連の製品やサービスが注目されている。その中で、SDGs 推進を掲げ、新たな循環型のビジネスモデル構築に乗り出している「株式会社 齋藤塗工店」。新規事業部門として起業した「株式会社 abulax」による新事業の全体構想や環境製品の開発状況、今後のビジョンを伺った。

創業95年、地域と共に歩み業界から信頼を集める企業に

——貴社の事業内容を教えてください。

板橋 ▶ 昭和2年に創業いたしました「株式会社 齋藤塗工店」は、社名の通り、塗装工事業を中心に地域の建設会社の下請けや、既存の建物の塗装・防水、クラック（コンクリートのひび割れ部分）や漏水箇所の補修を含むリフォーム工事を主な業務として

た専門企業です。

——競合他社と比較した際の貴社の魅力を教えてください。

板橋 ▶ 創業以来95年以上の間、豊橋市を拠点として東三河に根ざし、地域のみならず共に歩みながら信頼の実績を積み、官公庁物件もお任せいただける企業にまで成長いたしました。そのため、安心して、塗装やリフォーム工事についてご相談いただきたいと思えます。

また、弊社には資格保有者が多数在籍しており、お客様のご要望に沿った工事の計画提案や施工ができます。建設業の仕事の多くはB to Bですから、お客様も建設業のプロフェッショナルがほとんどで、我々の仕事にご満足いただき、「齋藤に任せれば安心だ」と継続してご発注いただいております。

東三河発の新たなビジネスモデルで脱炭素社会へ

——新たな事業展開があれば教えてください。

板橋 ▶ 弊社の新規事業部門として、今年5月に「株式会社 アブラックス」を起業いたしました。主な事業内容は、使用済天ぷら油を特殊精製し、工業用のバイオ潤滑油などに転換する循環型の環境製品の製造です。新たなビジネスモデルとして構築し、東三河を中心に、愛知県内の製造業社をターゲットとして販売を展開していく考えです。

来年3月にスタートできる予定で製造体制づくりを進めており、バイオ潤滑油を生産することが可能になります。

——新事業を立ち上げるまでの経緯を教えてください。

板橋 ▶ 弊社では、SDGsを積極

的に推進してこうと宣言したものの、具体的にどのような取組みをすべきか悩んでいた時期がありました。その頃は、そのようななか地域の様々な工場を訪問し、弊社が得意とする電気消費量の削減に効果的な遮熱塗料や、漆喰を活用した抗ウイルス塗装などの環境提案をさせていただいておりました。その際に、経営者様から「他社の工場ではどのような環境対策の取組みを行っているか」との質問を多くいただいております。詳しく伺うと、大手企業の工場ではLEDや省エネエアコン、太陽光パネルの設置など、幅広く環境製品を導入されているものの、次の施策として何に取組むべきかを悩んでいるという実態が明らかになりました。

また同じ頃に、自動車関連会社の環境担当者との商談の際に、「社内食堂から出る使用済天ぷら油を工業用の潤滑油に精製することは技術的に可能か」という話題になり、地域の潤滑油会社の専門家に尋ねたところ「一時的には特段の問題はないものの長期になるとどうなるかわからない」との意見をいただき、ビジネスの可能性と弊社が取り組むべきSDGsに沿った環境製品になるのではと感じたのが全ての始まりでした。

早速、豊橋市役所へ植物性油の燃

INTERVIEW



株式会社 齋藤塗工店
豊橋市神野新田町字ハノ割7番
0532-32-6767



株式会社 アブラックス
豊橋市神野新田町字ハノ割7番
0532-32-7710

——本事業に関して、今後の展開を教えてください。

板橋▼地域の金融機関様の協力で国の事業再構築補助金の採択を受けて、商工会議所様にも応援して

東京証券取引所では国の主導により、炭素取引市場の実証事業がスタートしています。こうした動きのなかで弊社の製品が目される可能性は大いにあると確信しています。

さらに、将来的には更なる高付加価値の環境製品とするため、J-クレジット制度への参画を目指しています。弊社の製品を利用された企業様は国からJ-クレジットが発行され、他の企業にクレジットを販売、もしくは自社で活用できるというモデルも視野に入れ、専門機関と調整しております。

炭素に貢献できる仕組みを提案予定です。

——貴社が描く将来のビジョンを教えてください。

板橋▼今までと変わらず、地元東三河を中心に、高品質な工事を旨として誠心誠意対応しています。結果として、お客様に満足いただけるものを提供し、継続的にご愛顧いただき、チャレンジ精神を忘れずに永続した会社運営を目指していきたいと考えています。

また、東三河の取引先関係者から誕生した日本初のビジネスモデルを推進したく、地域の企業にも事業参画をお願いできればと考えております。まだまだ改善事項は多々ありますが、研究を継続していき、弊社の塗装と環境ビジネスをセットにして地域の皆様へ提供し、喜ばれる企業を目指したいと考えております。

——現状の課題は何かありますか。

板橋▼原料となる使用済天ぷら油の回収と企業の参画です。お金で買える鉱物油と異なり、使用済天ぷら

——開発において、苦労されている点はありますか。

板橋▼匂いですね。検証当初は油煙の天ぷら油臭が工場に充滿して、生産性が落ちるとのクレームをいただきました。ただいま、こちらの改善も進めており、緩和される予定です。しかし、開発の段階で個人々人によって匂いの好き嫌いにバラつきがあることがわかりましたので、万人受けする匂いの開発は難しいかもしれません。

また、様々な用途で使用された使用済天ぷら油ですから、何が混ざっているかわかりません。そのような使用済天ぷら油を一定の性能を保ったバイオ潤滑油として精製する技術は大変苦労しましたので、これを我々の重要なビジネスモデルにできたらと考えていますし、常に改善していきたいと考えております。

販売を予定している製品について教えてください。

板橋▼弊社では、工業用バイオ潤滑油や農業用コンバインオイル、林業用チェーンソーオイル、潤滑スプレー、床用洗剤など、全て使用済天ぷら油を原料とした製品を販売予定です。弊社のバイオ潤滑油は、切削性能等は鉱物油とほぼ同等の性能を有していることが実証されており、植物由来のため、環境と人に優しく、しかも生分解性が高いので、油漏れによる土壌汚染リスクの軽減等、特に優位性があります。

一方で植物由来であるが故に、酸化しやすい等の弱点もあり、日々研究、改善を進めているところです。また、実質的に油を交換するだけの設備投資が一切不要で現場の従業員の負担が少なく、すぐにも環境問題に貢献ができます。

——どの様なビジネスモデルを想定されていますか。

板橋▼まず、企業や市町村から排出される使用済天ぷら油を回収し、特殊精製・加工してバイオ潤滑油等を生産し、各工場等へ販売するといった

地域循環システム、そして社内食堂のある製造業様等へは社内循環システムを提案しております。また、使用後の廃油は、再度精製して使用するか、化石燃料に混ぜて燃焼させることができます。弊社の提案としては、使用後の廃油からマテリアルサイクルしてバイオ床用洗剤としてご利用いただくことで、最後まで使い切り、「燃やさない」取組みを考えています。

INDUSTRIAL PRODUCTS



エイトクリーナーX
植物性油(使用済天ぷら油等)を100%使用した工場床用洗剤で、エコマーク認定製品。



エコゾール
環境や人にも優しいスプレータイプの植物性潤滑油で、浸透性や潤滑性を有し、可動部の動きやサビの発生防止等に効果のある環境製品。



エイトオイル(工業用)
金属等の切削加工、研削加工、圧延加工や生産設備潤滑油、摺動面油、フラッシング油がラインナップのカーボンオフセット製品。



エイトオイル(林業用・農業用)
チェーンソーオイルやコンバインオイルとして使用でき、高い生分解性が特徴の環境保全製品。



※全てイメージ画像

【製品特徴】

- 1.リサイクルが基盤である(循環型)
- 2.CO₂の削減(カーボンオフセット)
- 3.土壌汚染リスクの軽減(高い生分解性)
- 4.手荒れ、健康悪影響リスクの減少(化学物質減)
- 5.設備投資が不要
- 6.フラッシング効果がある
- 7.地域貢献(地産地消)
- 8.エコマークなどの各種認定商品

新たな循環システムを構築し、脱炭素に貢献できる仕組みを提案予定です。

油は有限です。CO₂削減の観点から考えれば、遠方から取り寄せることは避けたく、できる限り地域で循環できるようにしたいと考えています。現在あらゆる可能性を考え、使用済天ぷら油以外の未利用油で廃棄しているものについて、技術革新を起して再利用できないかも、検討中です。

地域循環システム、そして社内食堂のある製造業様等へは社内循環システムを提案しております。また、使用後の廃油は、再度精製して使用するか、化石燃料に混ぜて燃焼させることができます。弊社の提案としては、使用後の廃油からマテリアルサイクルしてバイオ床用洗剤としてご利用いただくことで、最後まで使い切り、「燃やさない」取組みを考えています。

地下資源である鉱物油からこの製品に変更していただくだけで、CO₂削減に寄与することが可能です。

THERMO-EYE SERIES
サーモアイ シリーズ
省エネと節電を考えた
ハイスペック遮熱塗料 **サーモアイ**

屋根から遮熱で、にっこり笑顔。
屋根を「サーモアイ」シリーズに塗り替えれば、暑い日でも室温上昇をおさえ快適に！
それだけで、地球温暖化やヒートアイランド対策にもきちんと貢献。

赤外線通過テクノロジー
ダブル反射
高耐久
低汚染
防藻・防かび

高い遮熱性 施工or未施工の温度差
施工前 屋根温度 34℃ 室温 30℃
施工後 屋根温度 31℃ 室温 32℃
4℃の温度差

花火の施工実績